

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名【新】「働いてもらい方改革」啓発推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

総合企画部未来創成局 未来創成課 第一係

電話番号：058-272-1111(内2715)

E-mail：c11179@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 5,902千円 (前年度予算額： 0千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	5,902	3,830	0	0	0	0	0	0	2,072
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

人口減少により、今後人手不足がより一層深刻になる見込みであるが、他方で子育て中の方や高齢者など短時間の労働やリモートワークであれば働ける方々が多数存在する。これを踏まえ、働く人の目線に立ち、柔軟で働きやすい環境を整える「働いてもらい方改革」を業種を問わず、広く全県的に推進することで、労働力確保と生産性向上を同時に実現することを目指す。

このため、「働いてもらい方改革」の優良事例について掘り起こしを継続するとともに、経営者や求職者などターゲット別に、分野横断的なプロモーションを行う。

(2) 事業内容

①普及啓発事業

優良企業の掘り起こし、ターゲット別（企業向け・求職者向け等）に出前講座や他部局主催イベント等を通じて啓発を行う。

②異業種・企業交流会開催事業

幅広い分野で「働いてもらい方改革」の浸透を図るため、分野横断的な異業種間での交流会（勉強会）を開催し、労務管理に関する県内企業経営者の意識改革を進める（セミナー+意見交換会等）。

(3) 県負担・補助率の考え方

地域活性化雇用創造プロジェクト（補助金）の活用を検討（国費8割）

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	120	出前講座講師
旅費	430	出前講座講師18、職員旅費412（普及：390、異業種交流22）
需用費	552	事務用品、コピー用紙代等
委託料	4,800	普及啓発ツール制作1,071、異業種・企業交流会運営3,729
合計	5,902	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

10の政策目標（「①若者や女性が持てる力を発揮できる働き方や職場をつくる。」、「③お年寄りや障害がある方が活躍できる場や居場所をつくる。」）に位置付け。

(2) 国・他県の状況

- 内閣府「地域働き方・職場改革ネットワーク」に参画（24県44市町村で構成）
- 令和7年度厚生労働省事業（事業費47億円（令和8年度要求：47億円））

(3) 後年度の財政負担

(4) 事業主体及びその妥当性

主体：県

「働いてもらい方改革」の取組みを全県的に浸透させるため、県が主体となることが妥当。

事 業 評 価 調 書 (県単独補助金除く)

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

「働いてもらい方改革」が広く企業・県民に浸透し、県内企業において様々な業種で取組みが進められるよう、取組みの普及啓発等を行う。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R7)	R8年度 目標	R9年度 目標	R10年度 目標	終期目標 (R10)	達成率
①出前講座参加者数（累計）	1,520	3,000	4,500	6,000	6,000	

○指標を設定することができない場合の理由

（記入用紙）

(これまでの取組内容と成果)

令 和 4 年 度	・取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令 和 5 年 度	・取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令 和 6 年 度	・取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価)

・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3：期待以上の成果あり

2：期待どおりの成果あり

1：期待どおりの成果が得られていない

0：ほとんど成果が得られていない

(評価)

・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている

(評価)

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント
又は事業名及び所管課

組み合わせて実施する理由
や期待する効果 など